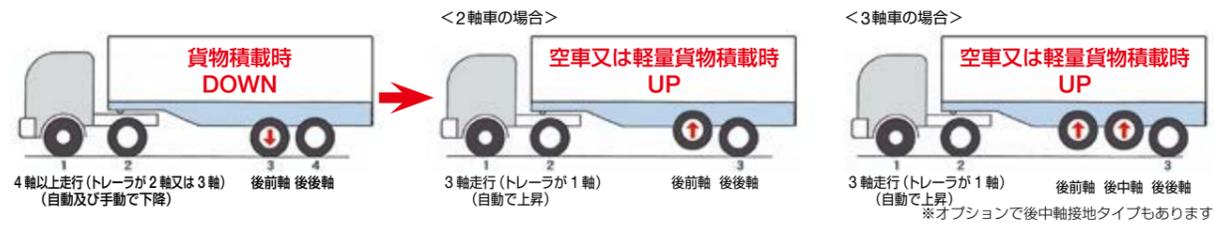


リフトアクスル機能

積み荷の量に応じてトレーラ後前軸(+後中軸)の車輪をリフトアップすることで、輸送コストが低減できます。



■ 高速道路の通行料金区分が変わります。

積み荷量により自動で1軸走行に切り替わることで、高速通行料金区分が4軸車【特大車】⇒3軸車【大型車】扱いになります。

■ ランニングコストを低減

燃料消費量、タイヤやブレーキ等の摩耗量が低減できます。

■ 全自動型リフト機構

空車及び軽量貨物積載時に自動でリフトアップ、積載量が増すと自動降下し、通常状態の走行になります。

■ 荷役環境に柔軟に対応

車高調整機能(オプション)により、荷台を昇降*できますので、プラットフォームに合わせて、荷役作業を効率よくできます。(※上昇:約65mm、下降:約90mm)
走行時は標準車高に自動復帰します。

■ 環境にやさしい車両

1軸又は2軸をリフトアップすることで、路面等への影響を軽減できます。



車高調整機能(ハイトコントロールバルブ) <オプション>



TIM: Trailer Information Module <オプション>

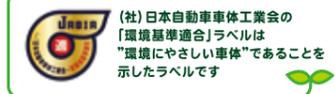
・EBSに保存されている車両情報を確認することができます。
・本装置で上昇軸を強制降下できます。*

※運転席でもブレーキペダル操作により強制降下できます。
この操作により、貨物積載時と同等の旋回軌跡で走行することが可能です。
詳しくは営業担当者にお問合せください。

日本フルハーフ株式会社

URL <https://www.fruehauf.co.jp/>

品川オフィス:03(3474)5709



北海道 011(723)8750 / 仙台 022(792)8630 / 盛岡 019(672)5472 / 新潟 025(243)0520 / 石岡 0299(24)1275 / 北関東 048(661)9051
東京 03(3863)8011 / 千葉 03(3863)8011 / 多摩 042(520)0045 / 神奈川 045(228)7853 / 静岡 054(285)3397 / 名古屋 052(532)7051
北陸 076(232)5588 / 阪神 06(6390)8257 / 広島 082(262)2005 / 岡山 086(206)3512 / 四国 087(863)6078 / 九州 092(272)0777

●仕様・諸元は改良のため、予告なく変更することがあります。
●写真の色は撮影及び印刷の条件により、実際の色と異なって見えることがあります。
●車両写真は一部オプションを含みます。

ORDER No.123
コンテナ・シャシ

R58-03対応モデル

RUEHAUF
日本フルハーフ

コンテナ シャシ



フルハーフはISO 9001/14001の認証を取得し、環境にやさしく、高品質の製品と高信頼のサービスをお届けしています。

主要諸元

仕様		40ft		40ft・20ft兼用			20ft		バリエーション				
外観イメージ													
最大積載量 (kg)		30,480	24,400	30,600	30,480 ^{*1} 24,000 ^{*2}	30,480 ^{*1} 24,000 ^{*2} 21,900 ^{*3}	21,500	24,000	24,000		30,480	22,000 ^{*4} 19,800 ^{*5}	
社内型式		K-FKGF340W	K-FKGF240	K-FKHK340W	K-FKHH340W (試作車)	K-FKHH340W (試作車)	K-FKDF220W	K-FKDH220W	K-FKDH320W (タイプA)	K-FKDH320W (タイプB)	K-FKDJ320W (試作車)	D-FPDG241W (試作車)	
外寸法	全長 (mm)	12,480	12,535	12,530	12,535	13,260	9,750	11,190	9,130		10,960	12,590	
	全幅 (mm)	2,490	2,470	2,470	2,460	2,480	2,470	2,460	2,470		2,460	2,495	
	全高 (mm)	1,575	1,575	1,555	1,585	1,485	1,505	1,515	2,030	2,200	1,530	1,520	
床面上高 (mm)		1,200	1,200	1,175	1,205	1,195	1,200	1,205	1,190		1,180	1,000	
カバー高 (mm)		1,200	1,200	1,175	1,210	1,200	1,195	1,205	1,185		1,200	1,160	
前廻り半径 (mm)		1,440	1,270	1,440	1,460	1,515	680	660	680		660	1,330	
後廻り半径 (mm)		2,110	1,860	2,010	2,060	2,060	1,990	2,050	2,050		2,030	2,000	
車体重量 (kg)		4,410	3,610	5,360	5,360	6,170	3,630	3,970	6,660	7,360	4,980	6,380	
重量制限	前5輪荷重 (kg)	10,690	9,040	11,485	11,345 ^{*1} 7,595 ^{*2}	10,550 ^{*1} 7,690 ^{*2} 8,750 ^{*3}	6,145	8,975	6,235	6,945	10,985	11,490 ^{*4} 7,215 ^{*5}	
	後輪荷重 (kg)	24,200	18,970	24,475	24,495 ^{*1} 21,765 ^{*2}	26,100 ^{*1} 22,480 ^{*2} 19,220 ^{*3}	18,995	18,995	24,425	24,415	24,475	16,890 ^{*4} 18,965 ^{*5}	
	合計 (kg)	34,890	28,010	35,960	35,840 ^{*1} 29,360 ^{*2}	36,650 ^{*1} 30,170 ^{*2} 27,970 ^{*3}	25,130	27,970	30,660	31,360	35,460	28,380 ^{*4} 26,180 ^{*5}	
吊钩仕様	前5輪荷重	10,800kg以上	9,100kg以上	11,500kg以上	11,400kg以上	10,800kg以上	6,200kg以上	9,000kg以上	6,300kg以上	7,000kg以上	11,000kg以上	11,500kg以上	
	カバー制限	1,200mm以下	1,200mm以下	1,200mm以下	1,200mm以下	1,200mm以下	1,200mm以下	1,200mm以下	1,200mm以下		1,200mm以下	1,170mm以下	
ページ		P06	P07	P07	P08	P09	P09	P09	P11	P11	P12	P12	

※最大積載量はオプション装備により積載量が減トンとなる場合がございます。
 ※エアサスペンションを選択の場合、コンテナ使用上条件付きとなる場合や、積載量が減トンとなる場合があります。

※1: 40ftを1個積載の場合
 ※2: 20ftを1個積載の場合
 ※3: 20ft(空)を2個積載の場合
 ※4: JRBtonを3個積載の場合
 ※5: 31ftを1個積載の場合

主要仕様

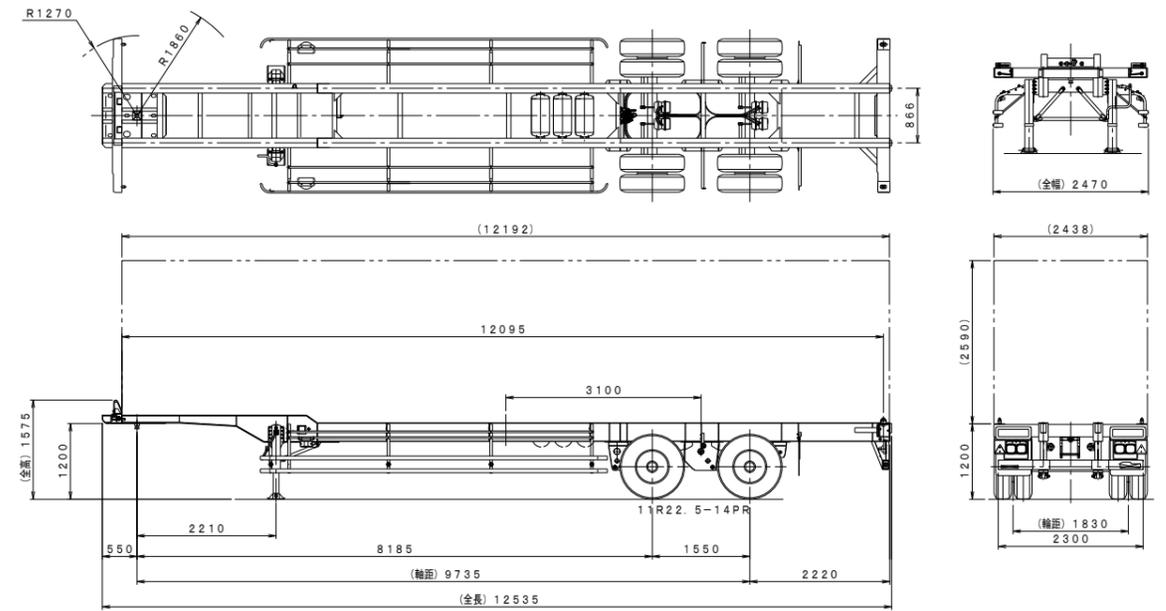
社内	型式		K-FK GF340W	K-FK GF240	K-FK HK340W	K-FK HH340W	K-FK HH340W	K-FK DF220W	K-FK DH220W		K-FK DH320W		K-FK DJ320W	D-FP DG241W
	タイプ		-	-	-	試作車	試作車	-	-		A	B	試作車	試作車
	バージョンコード		31A	310	31C	315		312	313	316		317	-	
走行装置	主ブレーキ	EBS(ROC)	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-
		ABS	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
		エア式	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
		エアタンク材質	鉄	鉄	鉄	鉄	アルミ	アルミ		鉄	鉄	アルミ	アルミ	アルミ
	駐車ブレーキ	スプリングブレーキ	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
	タイヤ	サイズ	11R22.5 -14PR	11R22.5 -14PR	235/70 R22.5	11R22.5 -14PR	11R22.5 -14PR	11R22.5 -14PR	11R22.5 -14PR		11R22.5 -14PR	235/70 R22.5	265/60 R22.5	265/60 R22.5
	タイヤホイール	材質	鉄	鉄*	鉄*	鉄*	鉄*	鉄*	鉄*		鉄*	鉄*	鉄	鉄
		サイズ	22.5×7.50	22.5×7.50	22.5×11.75	22.5×7.50	22.5×7.50	22.5×7.50	22.5×7.50		22.5×7.50	22.5×6.75	22.5×7.50	22.5×7.50
	サスペンション	エア	×	△*	△*	△*	△*	△*	△*		△*	△*	×	×
		リーフ(テーパー)	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●(下抱き)	●(下抱き)
駐車装置	ランディングギア	左右連動手動式 高低速2段切替	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
艀装品	サイドバンパー W/B	リップ型 鉄製 2段	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
	法規リヤバンパー	上面板張り無し	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
	泥除け	NF純正 振止SUS	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
	後部・側部反射器	NF純正品	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
	リヤストップブロック	リヤクロスメンバー 中間	●	●	●	●	●	-	-		-	-	-	-
	リヤ当りゴム	リヤクロスメンバー 中間縦 H100	-	-	-	-	-	●	●		●	●	-	-
電装品	テールランプ(吊下取付)	角型2連	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
	サイドフラッシャーランプ	NF純正品	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
	バックランプ	NF純正品	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
	凍結防止装置	リレーバルブ用 ヒーターカバー付	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
緊締装置	標準ツイストロック	左右連動式	-	●	●	●	●	●	●		●	●	-	-
		単動式	●	-	-	-	-	-	-		-	-	●	●
付属納品	車検証入れ	NF純正品	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●

*エアサスペンションを装着の場合、アルミホイールをお選びください。

40ft
積載

K-FKGF240

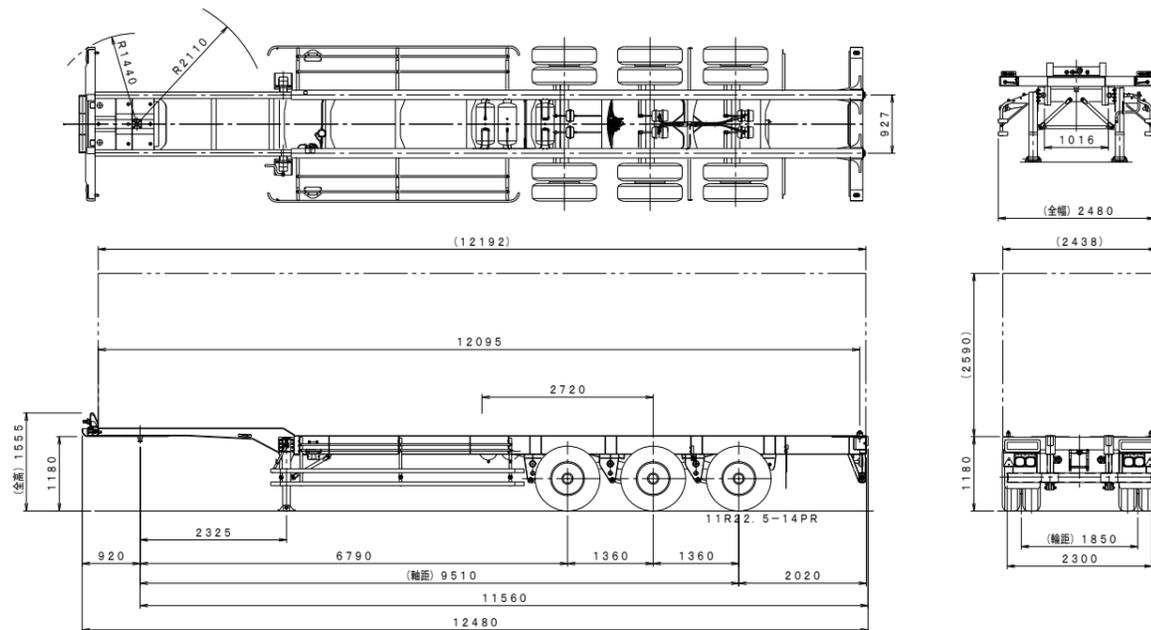
ISOコンテナ
40ft



40ft
積載

K-FKGF340W

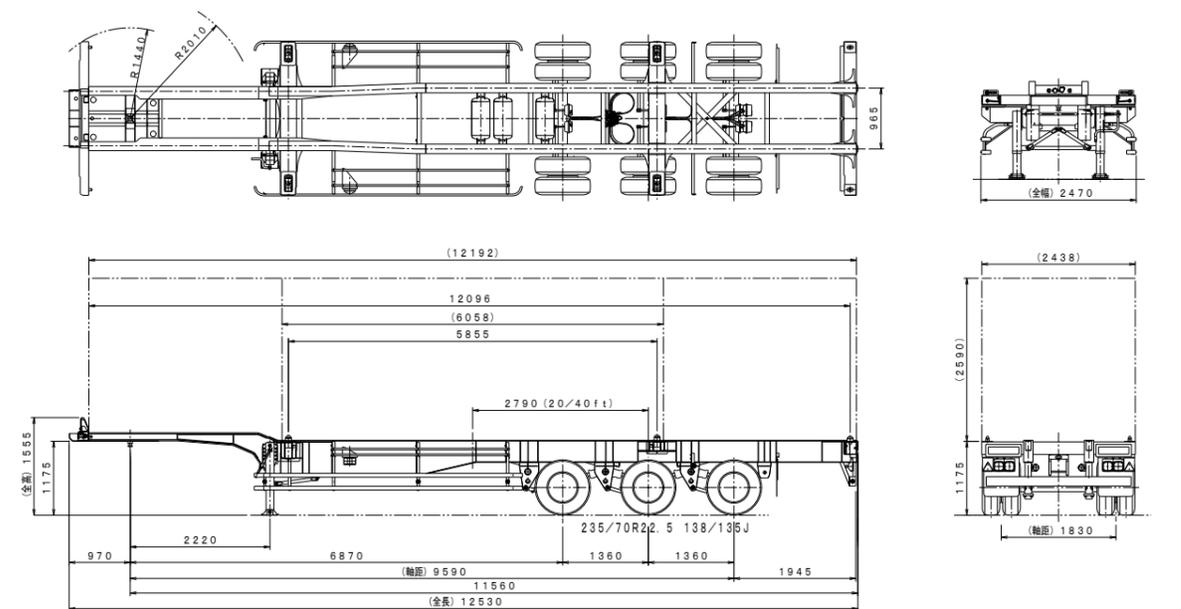
ISOコンテナ
40ft



40・20ft
積載

K-FKHK340W

ISOコンテナ
40ft・20ft兼用



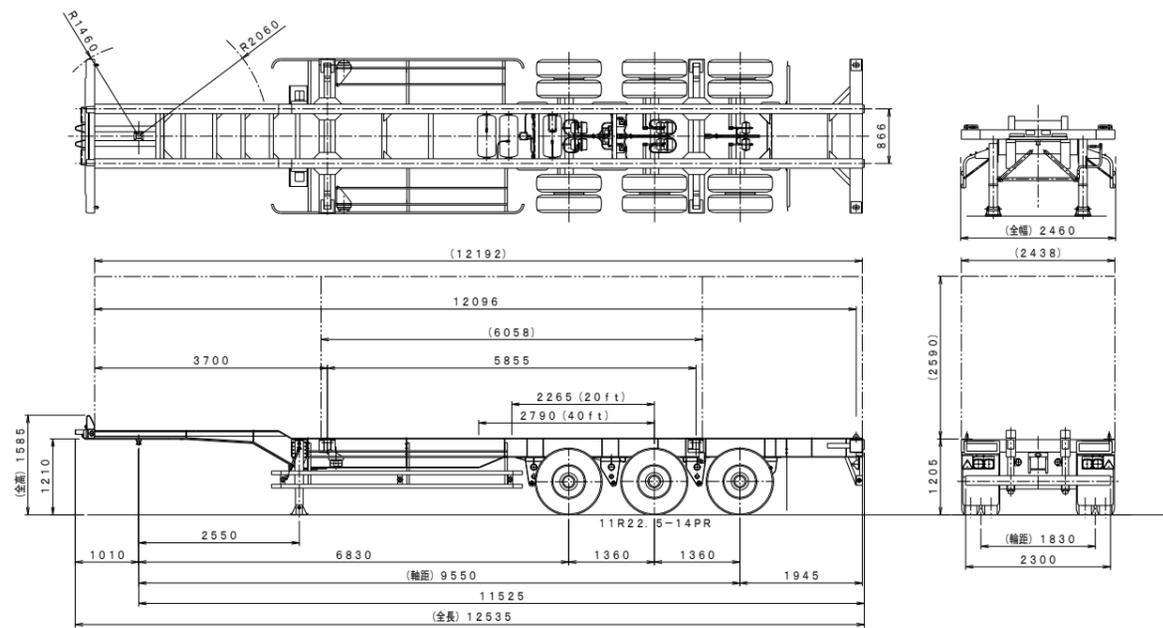
※ 20ftコンテナ積載時の4点支持積載禁止

40・20ft
積載

K-FKHH340W

ISOコンテナ
40ft・20ft兼用

※試作車登録となりますので、営業担当にご相談ください

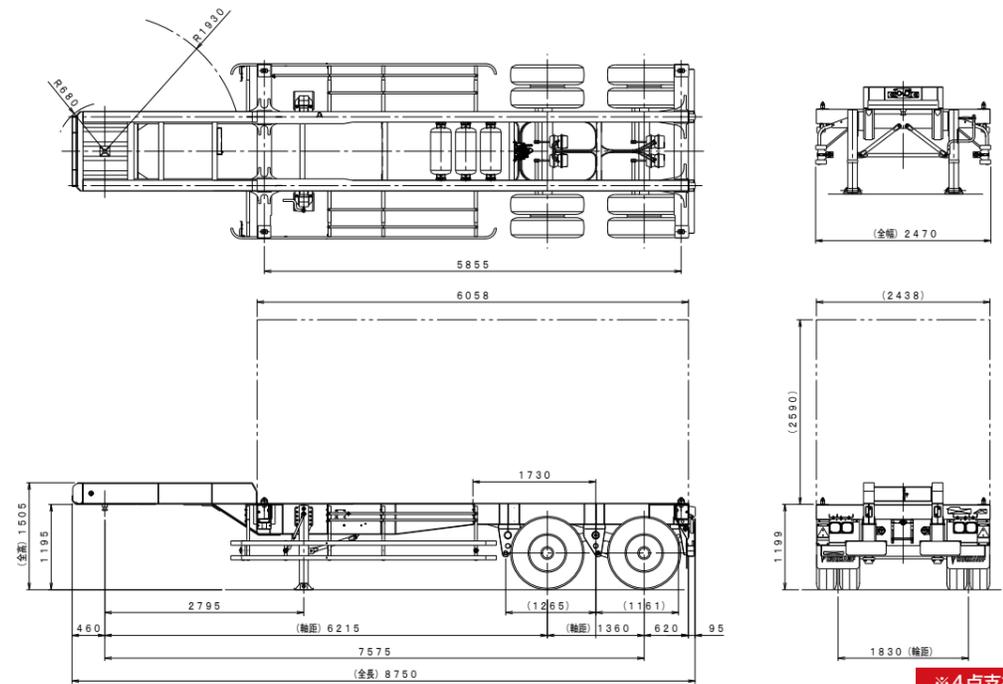


※20ftコンテナ積載時の4点支持積載禁止

20ft
積載

K-FKDF220W

ISOコンテナ
20ft



※4点支持積載禁止

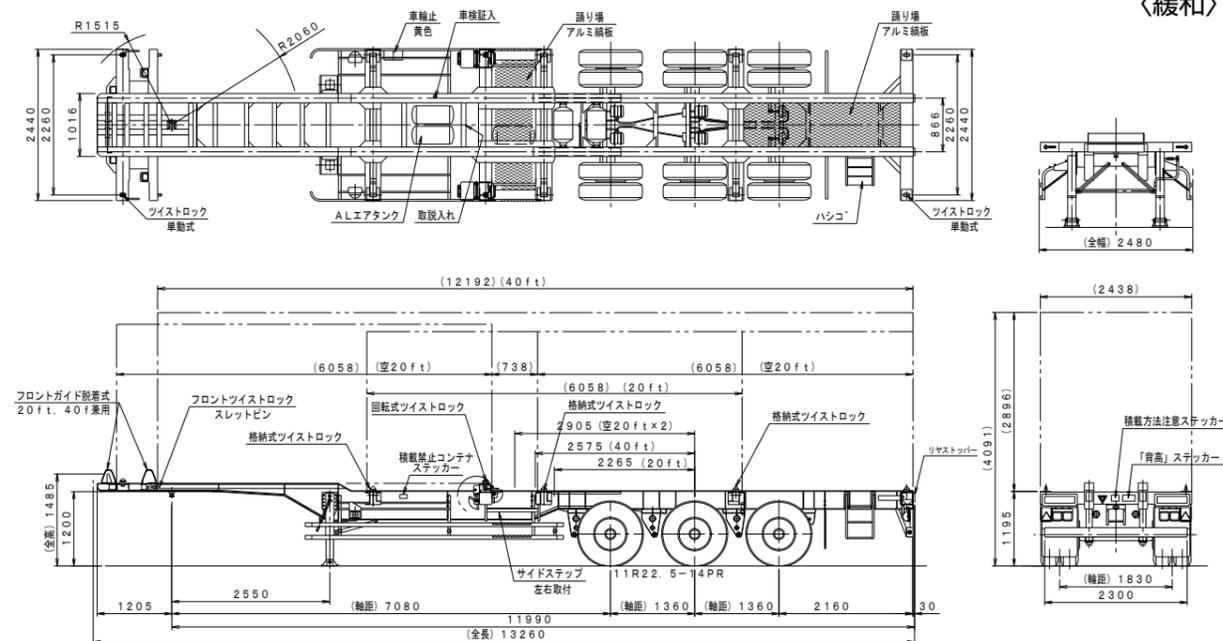
40・20ft
積載

K-FKHH340W

ISOコンテナ
40ft・20ft兼用(空20ft2個)

※一般公道においてはカタログ諸元が取れません。また、試作車登録となりますので、営業担当にご相談ください

〈緩和〉

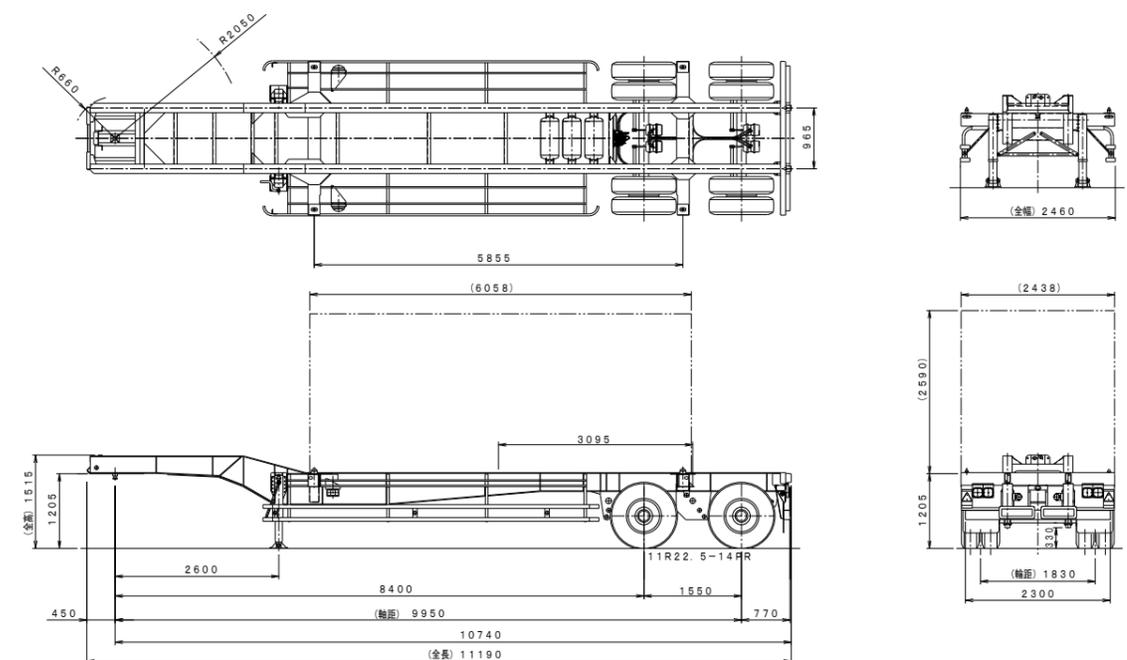


※20ftコンテナ積載時の4点支持積載禁止

20ft
積載

K-FKDH220W

ISOコンテナ
20ft(タンクコンテナ)

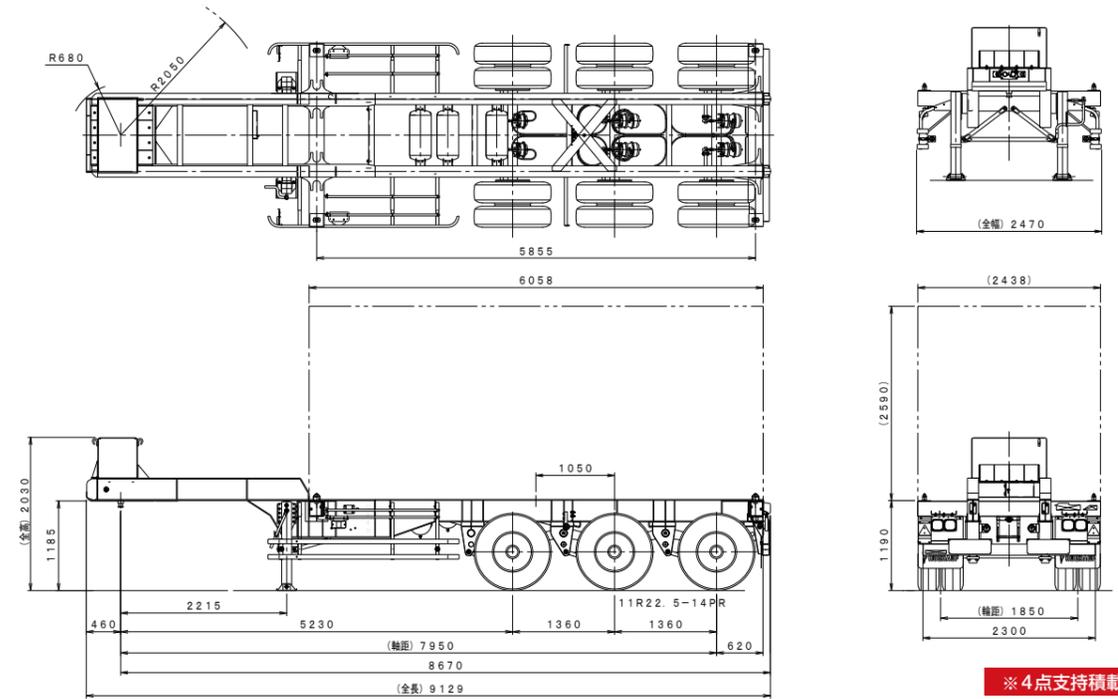


※4点支持積載可能。8点支持タイプもあります

20ft
積載

K-FKDH320WタイプA

ISOコンテナ
20ft



信頼のトレーラ塗装は、 業界トップクラス！

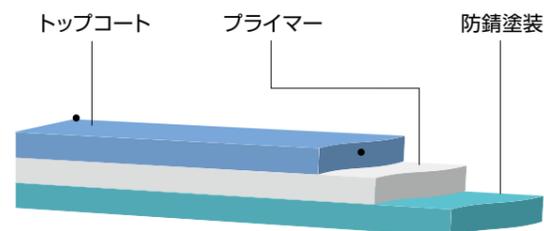
《4つのポイント》

- 1 部品単体状態で隅々まで
ショットブラスト加工！
- 2 防錆能力、密着性抜群の
3層コーティング！
- 3 **焼付塗装**で塗膜の強度と
表面のツヤがアップ！
- 4 寒冷地の塩カル対策を考え、
下廻り塗装を強化！

《3層構造》

3層のコーティングにより、
お客様の車両を錆から
お守りします！

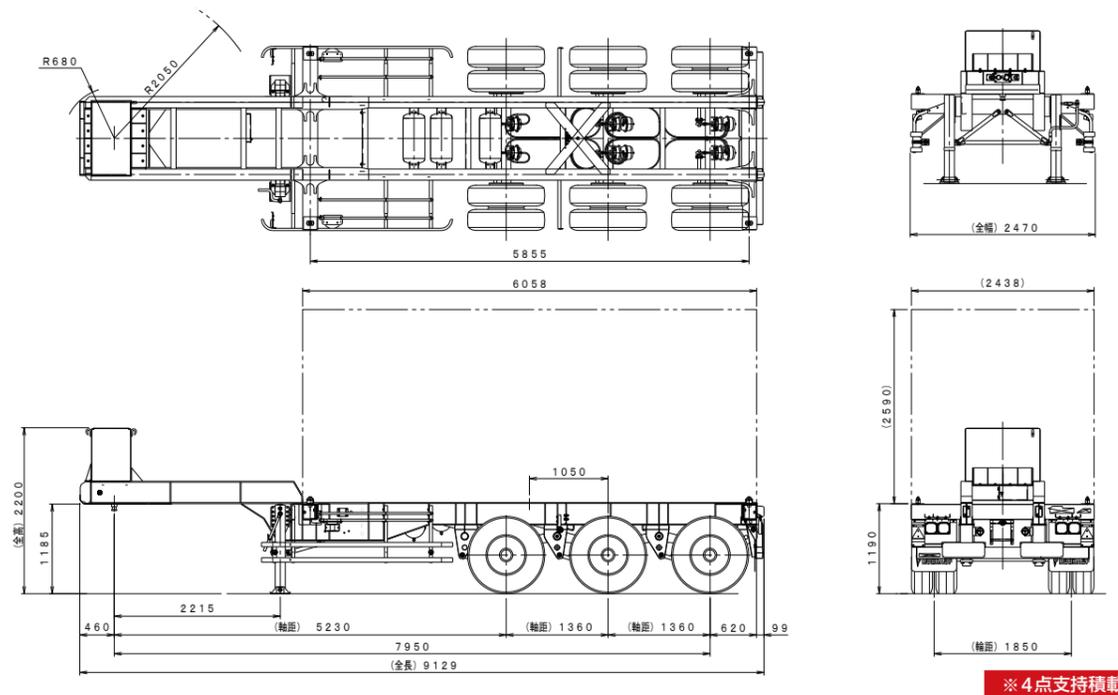
※使用用途によって防錆能力が異なります。



20ft
積載

K-FKDH320WタイプB

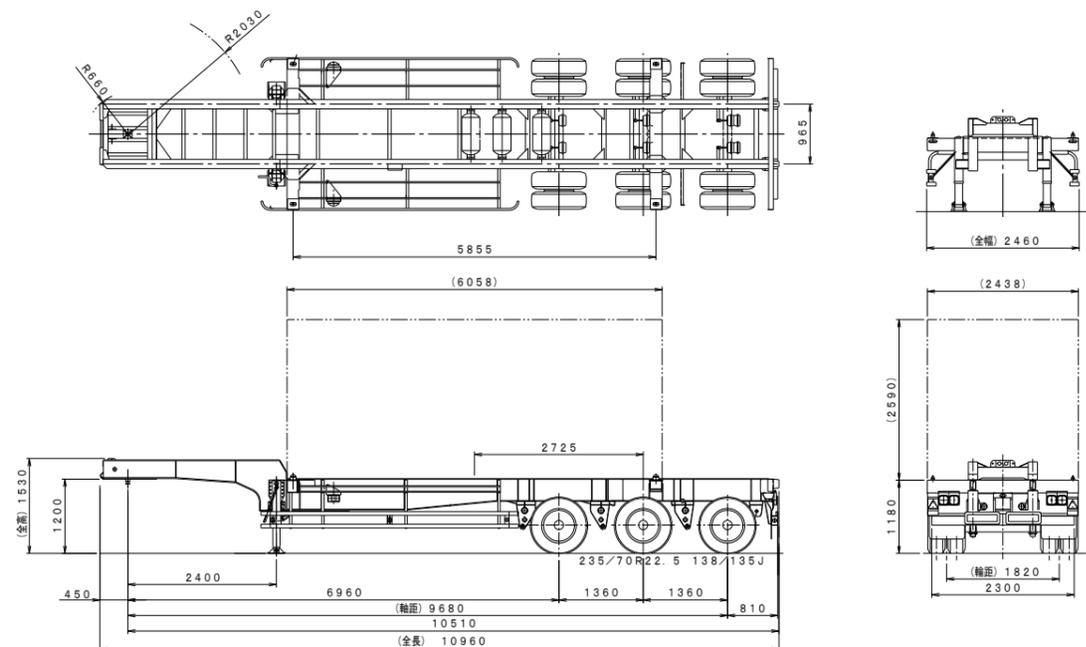
ISOコンテナ
20ft



K-FKDJ320W

ISOコンテナ
20ft (タンクコンテナ)

※試作車登録となりますので、営業担当にご相談ください



※4点支持積載可能。8点支持タイプもあります。

Spec

フルハーフの充実した標準装備+オプションで、使い勝手を自由にカスタマイズ!



足廻り(ABS装置含む)
独自のサスペンションと頑強なアクスル。高速トレーラ輸送に威力を発揮。



ランディングギヤ
軽量・強度に優れたギヤ内蔵式ランディングギヤの採用で、軽くスピーディーな操作を実現。



ツイストロック



アルミ製エアタンク
(オプション)



リヤ当りゴム h=100(20ft)



リヤストップブロック(40ft)



スペアタイヤキャリア&車輪止め
(オプション)

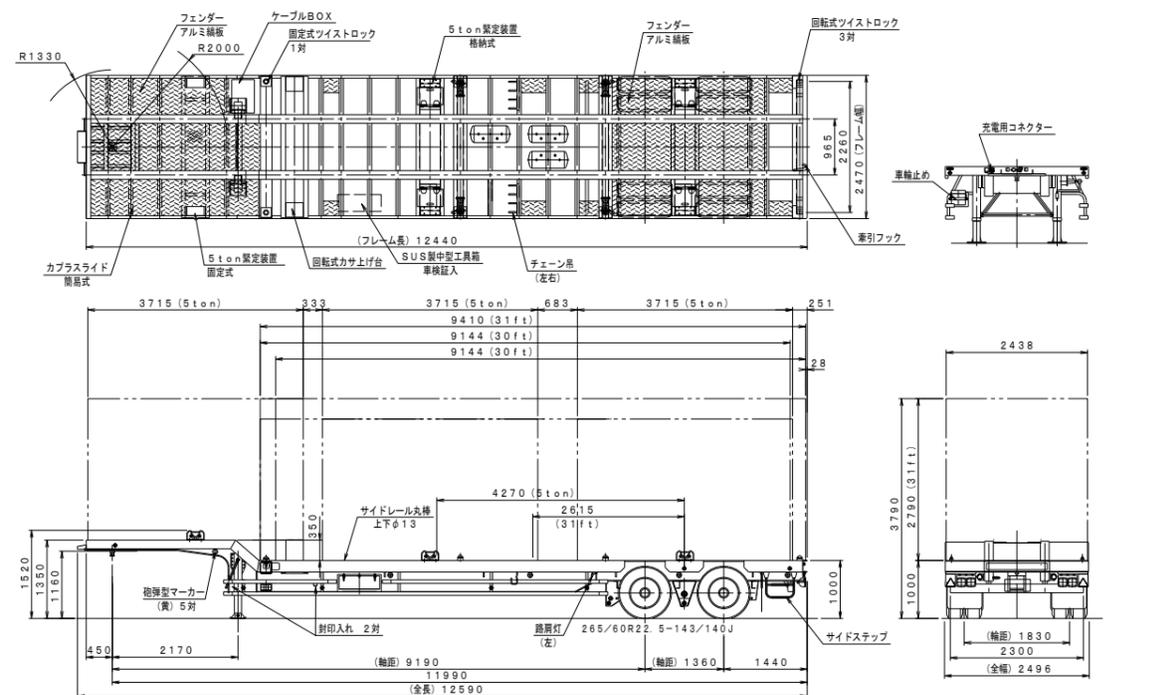


路肩灯<オプション>

D-FPDG241W

コンテナ
JR5ton、31ft積載

※試作車登録となりますので、営業担当にご相談ください



本図は一例です。

フルハーフの安全への取り組み



ヒーター付リレーバルブ
(標準装着)



防風カバー
(標準装着)

《ヒーター付リレーバルブ》

トレーラのブレーキ系統は圧縮空気を利用したエア・ブレーキ方式を採用しております。圧縮した空気は配管内で凝水することがあり、その水分がリレーバルブ内に留まることがあります。冬季にこのリレーバルブ内の水分が凍結をしてしまうことで、ブレーキ操作が正常に行えないことがあります。フルハーフはこのような冬季環境においても、より確実にブレーキ操作が行えるよう“ヒーター一体型リレーバルブ”を全トレーラに標準装備しております。またリレーバルブとヒーターを一体型にすることで、点検・整備性についてもより優れたものとなっております。

※ヒーター付リレーバルブは内部の凝水・凍結を除去するものではありません。過酷な寒冷地環境やリレーバルブ内の過度な水分量では十分な解凍能力が得られない場合も考えられますので、リレーバルブ内の定期的な整備(メンテナンス)は必ず行ってください。

For Safety

安全にコンテナ・シャシをご使用いただくために、確認事項の一例をご紹介します。

※ご使用前に弊社取り扱い説明書を必ずお読みください。

【1. コンテナ輸送】

- (1) コンテナを輸送するときは緊締装置のあるトレーラで走行してください。
- (2) トレーラとコンテナの諸元を確認してください。
※最大積載量や全高オーバーになるものがあります。4.1m 走行可能道路と、3.8m 走行の道路があります。

【2. 積めるコンテナ・積めないコンテナ】

1). 積めるコンテナ

ISO規格に準拠したコンテナ

2). 積めないコンテナ

- 緊締金具の位置・形状が異なるもの
- トレーラの最大積載量を超えるもの
- ヘビーダメージを負って強度保証できないもの
- 中身の貨物が極端に片荷となり、バランスの崩れているコンテナ

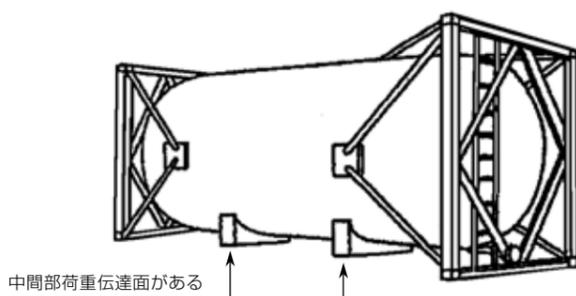
3). トレーラと適合しないコンテナは積まないでください。

法令違反であると同時に、トレーラの寿命を縮めます。

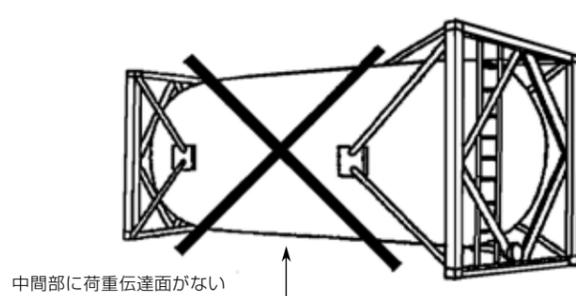
また、タイヤの偏磨耗を起こしたり車両の安定性や操舵性を損ね、横転などの重大事故につながる恐れがあります。

【3. タンクコンテナ輸送】

1). 積載可能コンテナ



2). 積載禁止コンテナ

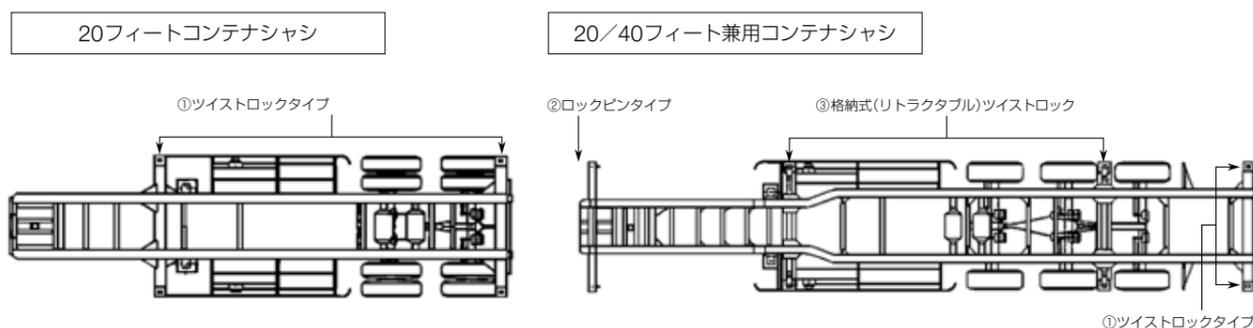


K-FKDH220W、K-FKDJ320Wへの積載は可能

【4. コンテナの緊締】

- コンテナ下部隅金具を緊締装置で確実に緊締して走行してください。
- ロックせずに走行すると、振動やカーブでの遠心力などでコンテナを落す恐れがあり大変危険です。
たとえ近距離であっても必ず緊締して走行してください。
- ワイヤーロープ等の緊締は禁止されています。

1). 緊締装置の種類と位置



2). 緊締装置への給油脂

緊締装置の回転及び摺動部には、月1回給油脂を行ってください。

For Safety

安全にコンテナ・シャシをご使用いただくために、確認事項の一例をご紹介します。

※ご使用前に弊社取り扱い説明書を必ずお読みください。

【5. コンテナへの荷物の積み下ろし】

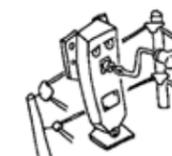
トレーラに積載したままコンテナ内の荷物を積み下ろしする場合。

- コンテナの床面全体に均等に荷重がかかるように平均して積んでください。
 - 1) 平坦で地面の硬い場所で行ってください。
 - 2) 駐車ブレーキを確実に効かせトレーラが動かないようにしてください。
 - 3) まわりに人や障害物がないことを確認してください。
 - 4) トレーラに衝撃を与えないように積んでください。
 - 5) コンテナの積み下ろしは、トレーラとトラクタを連結した状態で行ってください。やむを得ずトラクタと連結できない時は、ランディングギヤを接地しトレーラのキングピンに台座をセットしてください。ランディングギヤを接地しただけの状態ではトレーラの前部に荷重がかかるとフレームが変形する可能性があります。

注意

ランディングギヤハンドルを格納しない状態で走行しないでください。

ハンドルを格納しないで走行しますと、ハンドルの振れが事故の原因となります。ランディングギヤのハンドルを格納する時は、ギヤを必ず低速位置(ハンドルを手前に引いた位置)で、かみ合わせて格納してください。



重要 (冬季の取り扱い)

- 厳冬期に入る前に、サービス工場ではリレーバルブ内部のリレーピストン部の水を取り除き凍結防止処理を必ず行ってください。
- 厳冬期に入る前の日常点検で、エアタンクドレンから水が多量に出る場合は、トラクタのエアドライヤの点検整備を早めに行っておくことをお勧めします。
- ブレーキエアに含まれている水分が凍結し、ABSモジュールや各種コントロールバルブの作動不良を起こしたり、エアラインをふさいだり、破裂を起こすことがあります。
- ブレーキドラム内に水分が入っている状態で駐車しておくと、凍結で車輪がまわらなくなり牽引不能となりますから、駐車時の点検と駐車場所に注意してください。

特殊車両通行許可制度について

道路法では、道路を通行する車両の大きさを次のとおり制限しています。(一般的制限値)
次の一般的制限値を一つでも超える車両が道路を通行する場合は、「特殊車両通行許可」を必要とします。

- 幅2.5m・長さ12m・高さ3.8m・総重量20t・軸重10t・輪荷重5t

→隣接軸重

隣り合う車軸の軸距が1.8m未満の場合は18t
(ただし、隣り合う車軸の軸距が1.3m以上、かつ隣り合う車軸の軸重がいずれも9.5t以下の時は19t)
隣り合う車軸の軸距が1.8m以上の場合は20t

→最小回転半径12m以下

→「貨物が特殊」

分割不可能のため、一般的制限値のいずれかを超える建設機械、大型発電機、電車の車体、電柱などの貨物。

→「車両の構造が特殊」

車両の構造が特殊なため一般的制限値のいずれかを超える車両で、トラッククレーン等自走式建設機械、セミトレーラ連結車の特例5車種(バン型、タンク型、幌枠型、コンテナ用、自動車の運搬用)のほか、アオリ型、スタンション型、船底型の追加3車種)をいいます。
(注)追加3車種については、「総重量の最高限度の特例」は適用されません。